

長い文章ですが、赤ちゃんに大きな病気を引き起こす可能性がある感染症について書いています。
注意すれば防ぐことのできる病気ですのでぜひ最後までお読みください。

サイトメガロウイルス・トキソプラズマの感染予防について

サイトメガロウイルスって何？

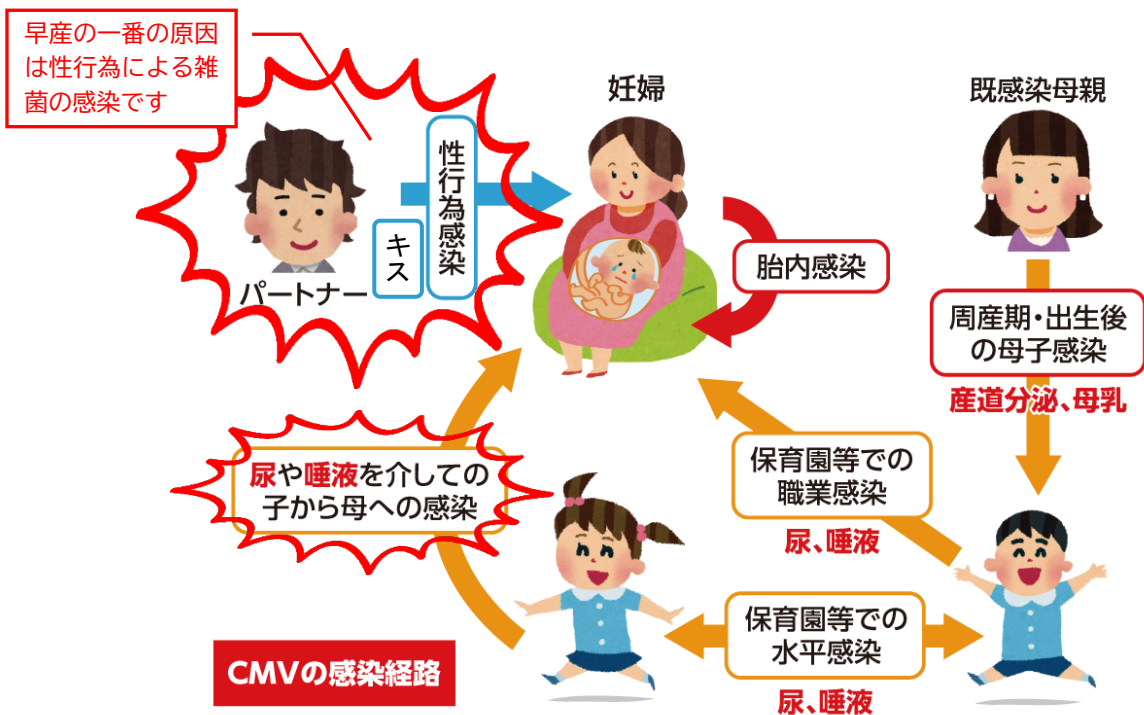
前回の妊娠時にサイトメガロウイルスの検査をされて免疫がなかった方は上の子供さんのよだれから感染する可能性が高いので要注意です。

世界中でよく見られ、誰でも感染する可能性があるウイルスです。日本人において成人の約70%が過去に感染したことがあるとされています。

健康な人が感染した場合、ほとんど症状がないことが多く、感染したことに気づかないこともあります。中には風邪とよく似た症状(発熱・のどの痛み・全身倦怠感・リンパ節の腫れ等)が出る人もいます。

感染する機会

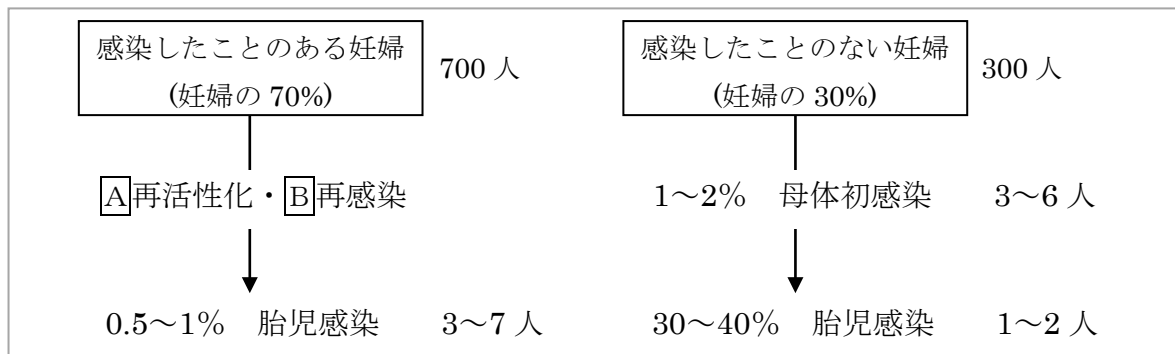
- ①胎児期 胎内感染（お母さんのお腹にいる時の感染）
- ②新生児期 出産時の産道での感染、母乳での感染
- ③幼児期 保育園等での他の子供からの唾液、尿に触れることによる感染
- ④大人 キスや性行為による感染（防ぐことが可能）
- ⑤大人 出産して上の子供が保育園で感染し、その子供からの感染（防ぐことが可能）



①の胎内感染の場合に、胎児に様々な病気を引き起こすことがあります。胎内感染しても大部分の児は無症状で出生しますが、一部の児は出生後、または遅れて、難聴・視力障害・精神発達遅延・肺・肝臓・脾臓の問題・発達障害などの先天性サイトメガロウイルス感染症を発症することがあります。

平成22年の2万人の統計では新生児の300人に1人の頻度で胎内での感染が認められ、症状のある症候性感染は1000人に1人であると報告されています。胎児に影響を及ぼす感染症としては、風しんやトキソプラズマよりもはるかに件数が多く、トキソプラズマの10倍とされています。

サイトメガロウイルスに感染した赤ちゃんには 64%に兄弟がおり、兄弟を検査したところ 85%でサイトメガロウイルスの遺伝子が一致したといわれています。このことより胎内感染の主要原因は、兄弟の尿や唾液に含まれるウイルスの母親（妊婦）への初感染であると言われていました。しかし最近の発表では、母親がサイトメガロウイルスに対して抗体がある(一度感染したことがある)にも関わらず、サイトメガロウイルス感染症の赤ちゃんが生まれる事例があることが分かってきました。



お母さんが妊娠中に感染しても全ての胎児に感染するわけではありません。胎児に感染した場合は 25%に障害が出ると言われてます。(胎児感染の有無の確定診断は出生後の尿検査です)

A再活性化・・・体の中の臓器に潜んでいたウイルスが炎症やストレスなどで再活性化され、血中にウイルスが流れ出る状態です。(残念ながらこれを防ぐ手段はありません)

B再感染・・・サイトメガロウイルスには数種類の型があり、そのうちの1つに感染したことがあれば血液検査上は免疫(抗体)有と判断されますが、違う型のウイルスには感染してしまう可能性があります。(これは予防によって防ぐことができます)

サイトメガロウイルスの抗体検査について

サイトメガロウイルス IgG 抗体の検査は、過去に感染したことがあるかを判断する検査です。このウイルスは風疹や水ぼうそうと違い、口唇ヘルペスのように一度感染してもウイルスが体内に潜んでいて何かのきっかけで再活性化され、血中に現れることがあるウイルスです。

また、このウイルスには数種類の型が存在し、一種類のウイルスに対する抗体を持っていても他の種類のウイルスには感染する可能性があります。

検査をして抗体があった方は初感染のリスクは大きく減少しますが、それでも他の型のウイルスへの感染リスクがあるため予防が必要です。**抗体がなかった方は最大限の注意が必要です。**

コロナウイルスのデルタ株・オミクロン株のように、別の変異型のウイルスに感染することがあります

感染予防

妊娠中の感染の多くの原因は小さな子どもの唾液や尿に触れることによるものです。

2歳以下の子供が感染すると約2年間、唾液や尿にウイルスを排泄していると言われてます。

★以下の行為の後には石けんと水で 15~20 秒間は手洗いをしましょう。

- ・おむつ交換
- ・子どもの食事介助
- ・子どものハナやヨダレを拭く
- ・子どものおもちゃを触る

★子どもと食べ物・飲み物・おはし・スプーン・フォークを共有しない

★おしゃぶりを口にしない。

★歯ブラシを共有しない。

★子どもとキスをするときは、唾液接触を避けて。

★おもちゃなど唾液・尿と触れそうな場所を清浄に保つ。

★ウイルスは乾燥に弱いので、敷物や布団類は天日で十分乾燥させる

抗体があった方もなかった方も妊娠中は気をつけましょう！

トキソプラズマって何？

トキソプラズマは家畜の肉や感染したばかりのネコの糞や土の中などにいるありきたりな原虫です。
(ネコ科以外の動物が感染しても体外に排出されることはありません)

妊婦が初めて感染した場合は、児が先天性トキソプラズマ症となることがあります。感染した児の約10%に症状が出現し、網脈絡膜炎による視力障害、脳室拡大、小頭症、精神運動発達遅延、肝脾腫となる可能性があります。母体は感染してもほとんど症状はありませんが、風邪の様な症状が出る人もいます。

感染予防

ヒトからは感染せず、動物の生肉やネコの糞が口に入ることで感染します。

★生肉はしっかり加熱しましょう

生肉 (牛・豚・馬・鳥等すべて)・生ハム・サラミ・赤みのあるステーキや
ローストビーフなどは妊娠中は控えましょう

調理前後はしっかり手を洗いましょう

調理器具 (まな板・包丁など) も生肉を切った後はしっかり洗いましょう

野菜・果物もネコの糞に汚染された土がついているかもしれないので、綺麗に洗って食べましょう

★ガーデニングなど土いじりをする時は手袋・メガネ・マスクをし、後でうがい・手洗いをしっかりしましょう。感染した猫の糞に汚染された土や水が感染源になります

土付きの野菜は買わないようにしましょう。ヨーロッパでは妊婦は生野菜を食べないように言われています。

★ネコを飼っている人は・・・

・飼いネコは外に出さず、室内で飼いましょう。主にネコは外で感染してきます。

・エサとして生肉をあげない

・トイレ掃除は毎日行い家族にまかせる。無理なら、手袋・メガネ・マスクをし、作業後はしっかりと手洗いをしましょう！！ネコが排便してから24時間程度経つまでは感染力を持ちません。素早く片付けましょう。

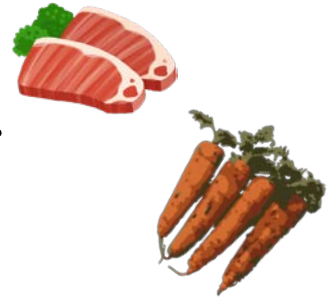
★どんなネコが危険なのか・・・

・外飼いのネコや野良ネコ (室内飼いのネコが脱走した場合も)

→いつ感染したか分からず、いつ感染するかもわかりません。

・トキソプラズマに初めて感染したネコ・未感染のネコが一番危険です！！猫の糞の中にトキソプラズマが排出されるのは猫が初めて感染した時だけです。この場合感染の3～24日後に排泄が始まり10日程度にわたり排泄が続きます。

※ネコについては詳しいパンフレットがありますので、医師にご相談ください



抗体検査

過去にすでにトキソプラズマ・サイトメガロウイルスに感染していた場合は体の中に免疫(抗体)ができています。抗体検査では免疫を持っているかがわかります。

おやお手帳の初期採血の無料券には、これらの抗体検査は含まれていません。自費になりますが、検査を希望される方は、初期採血の同意書『妊娠初期に行う血液検査等について』(緑色の用紙)の2枚目に希望の有無を記入する欄がありますので、そちらへご記入下さい。

・トキソプラズマ I g G 抗体 2,800 円 (税込) ※抗体があれば安心

・サイトメガロウイルス I g G 抗体 4,000 円 (税込) ※抗体があればリスク減、でも予防は必要